

一般質問



議会を傍聴しましょう！

次の定例会は、
12月6日～12月18日
までの予定です。



今定例会における一般質問は、
9月3日に行われ、11名の議員が
市政全般について、当局の所信を
ただし、活発な議論が展開されま
した。

質問者全員の質問と答弁の要旨
を質問者の原稿に基づき発言順に
掲載しています。

東京電力福島第一原子力発電所 事故について

民主・社民クラブ 川崎文雄

【質問】

原発の事故から一
年が経過し、二十キ
ロ圏の住民を含め、十六
万人も避難しています。
収束には三十年以上もか
かり、除染、補償には数
十兆円にも達する費用が
必要です。それでも、再
稼働していく政府は国民
無視で、財界に気兼ねし
ているだけです。脱原発
に向け、再稼働を止めて
いくべきです。市内に大
量に降った放射性物質の
対策を伺います。①市内
の汚染状況②浄水場の汚
染汚泥管理について③市
内の農業生産物検査につ
いて④放射性物質の検査
機器貸出し、使用につ
いて伺います。

【答弁】

①市内の汚染状況
の調査は、学校、保
育園等を中心に、百十三
点を継続的に行っていま
す。除染は九箇所実施し、
費用は三百五十四万九千
円、土砂入れ換え天地
返しを二千二百六十五㎡
行い、側溝の土砂撤去は

百二十八㎡です。②八千
ベクレルを超える発生土
は約百トンあり、「指定
廃棄物」として、国の責
任による処分となります。
現状では仮置場として、
久保井戸浄水場内に保管
するための工事を予定し
ています。③二十四年度
産米の検査について、松
井田町中心に何点か決め
て実施し、結果が出れば
出荷自粛解除となります。
④機器の貸出し状況は、
六月八十八件、七月七件、
八月八件です。食品検査
機の使用は、十月より一
日五検体で始めます。



食品放射性物質測定器

防災対策・国民宿舎「裏妙義」・ 市営墓地について

民主・社民クラブ 小宮ふみ子

災害に強い地域づくりに
ついて

【問】 防災計画の中に掲げ
ている地域での自主防災
活動について伺います。

【答】 市内で自主防災組織
が六組織設立。発足した
ばかりの組織がほとんど
です。組織や資機材の整
備を進めています。

【問】 市内在住外国人の災
害時における避難支援は
どのような体制が取れて
いますか。

【答】 外国人に対して避難
支援体制は整っておりま
せん。今後、通訳の派遣
や分かりやすいガイドブッ
クを検討していきます。

【問】 指定管理者制度に移
行後の利用状況と今後に
ついて伺います。

【答】 平成十九年度から管
理・運営を指定管理者で
行っています。利用者は
平成十九年度は九千四百
六十八人、平成二十三年
度は五千八百三十三人。

【問】 地域の協力により、
候補地の要望書が出てい
ます。今後、候補地の選
定をどうするのか。

【答】 候補地は要望書二カ
所、口頭三カ所。内部協
議と地域住民に相談し、
協議する手順が必要です。



国民宿舎「裏妙義」